

# 令和2年南アルプス市議会第1回定例会（3月）

## 市長説明要旨（抜粋）

本定例会における議案の説明に先立ち、これからの市政運営の取り組みについて、所信の一端を申し上げます。

はじめに、総合計画後期基本計画についてであります。

第二次総合計画は、計画期間の中間年を迎え、後期基本計画を策定すべく、今定例会に議案として上程しております。

目まぐるしく変動する社会情勢や多種多様化する市民ニーズに対応し、より確実な市政を運営するため、後期基本計画では、具体的な方策である施策体系について見直し、これからの市政運営に必要な33施策を盛り込み、各種事業に取り組んでまいります。

次に、新年度に重点的に取り組む事業について、ご説明いたします。

1点目としましては、『シティプロモーション』についてであります。

県外における本市の認知度を向上させるため、本市の魅力を県内外に向け、積極的に発信してまいります。

中部横断自動車道の効果を活かし、首都圏を中心に行ってきた観光PRを東海、中京圏においても実施してまいります。さらには、観光PRも含め、効率よくシティプロモーションを行うための戦略策定に取り組んでまいります。

2点目としましては、『観光振興』についてであります。

本市は、南アルプス山域を中心とした山岳観光や、さくらんぼ狩りなどの果樹観光により、毎年多くの方々に訪れていただいております。

しかしながら、誘客ができる時期は限定的であり、また、通過型観光であることから、通年、着地型ツーリズムへの転換が課題であると考えております。

このため、観光施設の整備や管理を所管する観光施設課を新たに設置し、観光事業のソフト面並びにハード面の充実を図ってまいります。

加えて、本市の観光振興の中心となる組織とするため、南アルプス市観光協会を法人化し、将来的には、南アルプス市版DMOが構築できるよう調査研究を進めてまいります。

また、南アルプス観光の基軸として期待の大きい早川芦安連絡道路の早期実現をはじめ、今後の南アルプス観光の振興にあたっては、山梨県をはじめ、関係市町や関係団体と相互に連携して取り組んでまいります。

3 点目としましては、『企業誘致』に向けた取り組みについてであります。

南アルプスインターチェンジ新産業拠点整備事業につきましては、12 月議会において、企業立地に関する支援策を取りまとめた条例が可決され、現在、優良企業の誘致に向けて、公募準備を進めております。

さらに、将来に向けて、南アルプスインターチェンジ周辺整備に必要な資金を準備するための基金条例案を、今定例会に議案として上程しております。

南アルプスインターチェンジ周辺は、中部横断自動車道や新山梨環状道路などが交差する利便性の高い地域であります。本事業では、こうした好条件を活かし、集客と交流の機能を持つ新たな産業拠点の一日も早い実現に向けて取り組んでまいります。

4 点目としましては、『行財政改革』のさらなる推進についてであります。

本市の、ふるさと納税制度による寄附金額は、昨年度の決算額 7 億 4,500 万円を大幅に上回り、2 月 10 日時点において 11 億 8,000 万円に達しております。

寄附金に対する返礼品は、シャインマスカットを中心とする農産物などの地場産品に限られていることから、地域産業の活性化に大きく寄与し、地域経済の好循環を生み出す重要な事業となっております。

令和 2 年度以降も、J A 南アルプス市や市内返礼品提供事業者との協力関係を継続すると共に、これまで以上に需要や動向を注視し、県内外に向けた情報発信により、寄附金額のさらなるアップを目指してまいります。

また、行財政改革の大きな柱のひとつである公共施設の再配置では、3 年間の集中取組期間の結果や、公共施設の状況や社会情勢の変化を踏まえ、「南アルプス市公共施設再配置アクションプラン」を改訂いたしました。

改訂版は、令和 2 年度から令和 7 年度までの 6 年間を計画期間とし、公共施設の機能集約と複合化、適正規模化などの基本方針により、各施設の今後の方針を定めております。

5 点目としまして、『子育て支援』のさらなる推進についてであります。

これまで、保育料の半額・無償化や、子ども医療費助成制度の 18 歳までの対象拡大、加えて、放課後児童クラブの整備充実や、病児保育施設「病児保育室うらら」の開設など、子育て世帯の負担軽減を図り、安心して子育てと仕事を両立できる環境を整えてまいりました。

こうした事業につきましては、今後も継続すると共に、新年度より、国の保育料無償化制度の対象から外れる 3 歳未満児のうち、第 2 子以降につきましては、市の独自制度として、保育料の完全無償化を実施いたします。

また、学校教育においては、校舎などの老朽化対策や、喫緊の課題である中学校特別教室への空調設備の設置など、国の補助制度を活用し、安全・安心で快適な学習環境の充実に努めてまいります。

特に、新年度より本格実施される新学習指導要領に対応すべく、児童生徒一人ひとりの理解度や特性を把握し、それぞれに応じた効果的な学びを支援し、学習内容を共有して深い学びを実現するため、端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する「ICT教育」の環境整備に取り組んでまいります。

加えて、学習・生活面で特別な支援が必要な生徒に対しまして、学習方法やコミュニケーションの方法などを個別に指導・支援するため、楡形中学校に「通級指導教室」を設置いたします。

6点目としまして、『健康・長寿』のまちづくりについてであります。

健康であることは社会貢献との考えに基づき、地域・団体・企業の皆さまと共に、市民の健康意識の向上を目指し「幸せ実感！南アルプス市健康リーグ」をこれまで以上に推進してまいります。

本年度実施した「健康わくわくウォーク」では、584人の市民の皆さまにご参加いただき、たいへんな盛況でありました。新年度においても、健康づくりのきっかけとして、多くの方々に参加していただきたいと考えております。

最後に、『防災備蓄倉庫整備事業』についてであります。

防災対策強化の取り組みとして、新年度より第二次防災備蓄計画に基づいた5年間の計画で、指定避難所である市内20箇所の小中学校と楡形西小学校に、備蓄物品等を整えてまいります。

この事業は、災害時における避難者に対し、食料、飲料水、毛布等の生活必需品を迅速に供給できるよう指定避難所等に備蓄するもので、大規模災害発生時の初動対策に、万全を期するものであります。

続きまして、本定例会に提出いたします案件について、ご説明申し上げます。

本定例会に提出いたしました案件は、条例案13件、予算案23件、総合計画策定案1件、財産の譲渡に関する案1件、指定管理の指定案2件、市道路線に関する案2件、同意案1件、諮問案1件、合わせて44件です。

詳細につきましては、総務部長、総合政策部長から説明いたします。